



# 日本名水百選 三分一湧水

## 名水百選

「八ヶ岳南麓高原湧水群」  
やつがたけなんろくこうげんゆうすいぐん

八ヶ岳南麓高原湧水群は、山梨県北杜市の北西部に位置しています。

湧水群の代表的なものに、三分一湧水、大滝湧水、女取湧水などがあり、その他にも八ヶ岳南麓には、50箇所以上の湧水があるとされています。

## 三分一湧水 の歴史

三分一湧水の由来は、その昔湧水の利用をめぐり長年続いた水争いを収めるため、一つの湧水の水を三分割して、三方向に水を流したことからきています。

諸説ありますが、先人の知恵で分水池（池）の真ん中に三角石を置くことで、三方向へ均等に分水されるようです。

江戸時代までは、複数の湧き水が集まった池のようなもので、湧水から数メートル下流に木で枠組みされた水門で分水していました。

大正時代になると水漏れする木材ではなく、石造りの分水池が作られたようです。昭和18年9月の大雨による土石流で跡形もなく押し流され、その後作られた分水池が現在使われているものです。

## 三分一湧水 の言い伝え

八ヶ岳山麓はしばしば山津波に襲われ、小荒間の人々はこれを「押し出し（おんだし）」と聞いて恐れていた。天保の頃、小荒間に押し出しがあり、山のような濁流が押し寄せてきた。

その濁流に乗って一匹の白蛇が流れ下り三分一のあたりで姿を消したという。それ以来、三分一の主は白い蛇だといわれ、湧水口を壊したり、裏山の木を切ったりすると、白蛇の怒り触れると言われるようになった。

(参考資料 三分一湧水館)



公園内には、昭和18年の災害復旧の功績と山津波が周期的に起こることを後世に伝えるため「大荒れの碑」として残されている。

(参考資料 三分一湧水館、北杜市HP)

## 名水百選とは

環境庁（現環境省）が、全国に多く存在する清澄な水について、全国の人に広く知ってもらい、水質保全への認識を深め、優良な水環境の保護を目的としています。  
全国の湧水や河川の中から名水百選（昭和60年）と平成の名水百選（平成20年）の併せて200箇所を選定しています。



## 日本一の名水の里 北杜市

山梨県北杜市では、昭和の名水百選に八ヶ岳南麓高原湧水群（三分一湧水、大滝湧水、女取湧水）、白州・尾白川の2箇所が選ばれています。  
また、平成の名水百選に金峰山・瑞牆山源流の1箇所が選ばれています。  
全国で1つの市の中に3箇所あるのは北杜市だけです。





## 三分一湧水はどこまで流れているの？

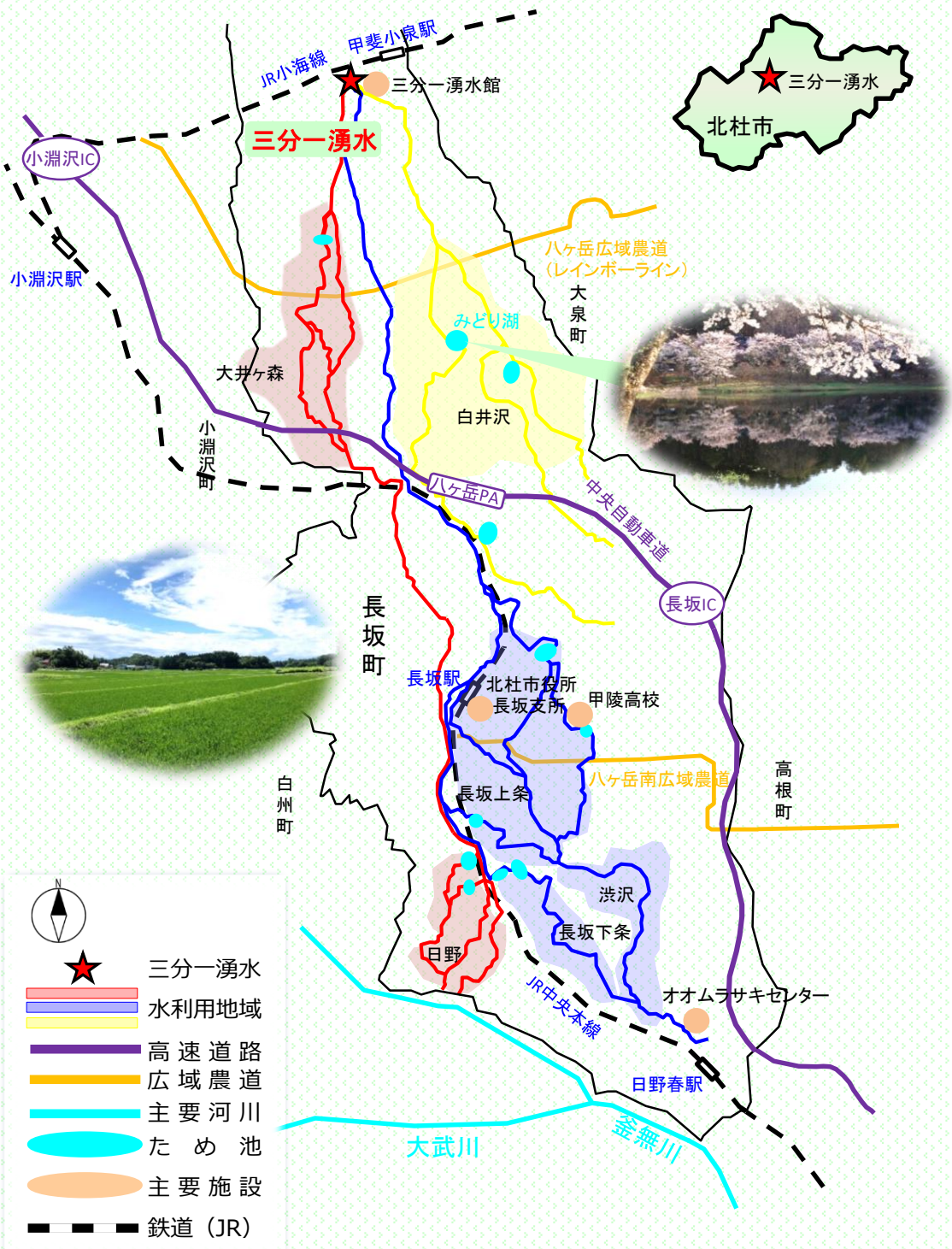
標高1035mの湧水から標高640mの水田まで、標高差約400m、距離にして10数kmも流れ、広範囲の水田で農業用水として現在まで使われています。途中、いくつかのため池がつけられ、水量を調整しています。

こうしてみると、三分一湧水で分水された水が下流では一度も交わることがなく、見事に各地区へ水が供給されているのがわかります。

## 三分一湧水 の現在

周辺は、元は代々「水元<sup>みずもと</sup>」と敬称され、湧水の維持管理を務めた坂本家の所有地でしたが、平成14年に長坂町（現在の北杜市）に譲られ、公園として整備されています。

すぐ隣には、「三分一湧水館」があり、展望台を兼ねた農村資料館、農産物加工販売施設、そば処が一体化した複合施設となっています。直売所には採れたての野菜や加工品が並んでおり、そば処で地粉で作る手打ちそばを是非召し上がってみてはいかがでしょうか。



**【所在地】**  
 山梨県北杜市長坂町小荒間292-1  
 三分一湧水館・直売所 9:00~17:00  
 ☎0551-32-0058  
 (火曜定休、GW・7~8月無休、元日休業)  
 そば処三分一 11:00~15:00  
 ☎0551-32-8318  
 (火曜定休、GW・7~8月無休、元日休業)  
 (参考資料 三分一湧水館、北杜市提供)



八ヶ岳南麓の湧水で育った農作物が並んでいますので、お越しの際は是非立ち寄ってみてください。



整備された公園内には遊歩道や木の椅子などがあり、夏でも木陰となっているので、散歩道にいかがですか。